

7. 縦隔腫瘍

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績 (あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日			放射線療法 体外照射	各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数			手術	化学療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容	医師の 専門 分野
1 呼吸器内科	8	7	状況	×	○	当院の呼吸器内科は、呼吸器病センターの内科部門として位置づけられており、各科連携のもとに疾病全般にわたって治療をおこなっています。特に悪性腫瘍の治療に関しては、センター化のメリットを大いに活かし、呼吸器外科、放射線科とタイアップして化学療法、外科的治療、放射線治療を組呼吸器外科では、主に肺がん、気胸・縦隔腫瘍の治療をおこなっています。中でも肺癌は、現在日本人のがん死亡の第1位となっており国を挙げての対策が急務となっています。肺がんのもっとも確実な治療法は早期発見・早期手術です。当院では胸腔鏡(内視鏡)を併用することで従来より傷を小さくし、体	ア http://www.suita.saiseikai.or.jp/suitabo/shokai/medical_section/naika_kokuyuki/index.php	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	あり					
2 呼吸器外科	2	1	状況	○	○	当院の呼吸器内科は、呼吸器病センターの内科部門として位置づけられており、各科連携のもとに疾病全般にわたって治療をおこなっています。特に悪性腫瘍の治療に関しては、センター化のメリットを大いに活かし、呼吸器外科、放射線科とタイアップして化学療法、外科的治療、放射線治療を組呼吸器外科では、主に肺がん、気胸・縦隔腫瘍の治療をおこなっています。中でも肺癌は、現在日本人のがん死亡の第1位となっており国を挙げての対策が急務となっています。肺がんのもっとも確実な治療法は早期発見・早期手術です。当院では胸腔鏡(内視鏡)を併用することで従来より傷を小さくし、体	ア http://www.suita.saiseikai.or.jp/suitabo/shokai/medical_section/kokuyukigeka/index.php	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	あり	なし					
3			状況				ア http://			
			実績							
4			状況				ア http://			
			実績							
5			状況				ア http://			
			実績							

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 胸腺腫 悪性縦隔腫瘍、前縦隔悪性腫瘍
------------------------------------	--------------------------